



# 目

何が、1年間で24万台に達している。

の後押しも含め、機

を終了に向け、09年

は、約1億台とされ

に、理論上では到達

(一面参照)

では7363万台5千

の、約1億台とされ

アナログテレビ環境

換えまで、数字の上

636万台5千台とな

年度比1割増で到達

てきた形だ。実際に

コーダとテレビのよ

復があり、受信機器

普及率はまだ7割程

蔽しは残るが、全

の機器普及は、到達

範囲内にある。

3月の商品別の出荷内訳は、テレビが前年同月比217.6%の221万台7千台、BDRレコーダが同170.1%の35万台6千台、デジタルレコーダが同114.4%の11万台4千台となった。

さらに、チューナの躍進は目覚ましい。同10.8倍の14万2千台となった。チューナは、統計参加企業が増えたこともあり、昨年9月以降毎月10倍以上の伸びを継続している。

また、チューナ内蔵PCが同233.5%の7万1千台、CATV用STBが同103.0%の18万1千台となるなど、これらも前年を越えている。完全移行まであと450日強となるなか、様々な形でデジタル

## HDMI規格の現状と説明

### 3D、多機能化に対応

HDMI規格のライセンスを管理するHDMIライセンシングは22日、HDMI規格の現状と最新バージョンHDMI 1.4aの導入状況などについて説明した。

HDMI規格のライセンスを1本のケーブルで伝送できる接続規格「HDMI」は、米シリコン・イメージ社の技術を中心にアメリカメーカーがコンソーシアムを設立し、03年から提供を開始。ライセンス採用社数は10年3月までに940社に達し、09年には搭載機器の累計が10億台を突破している。

最新バージョンであるHDMI 1.4規格は、新たにイーサネット



HDMI Licensingの代表者、最新のバージョンであるHDMI 1.4規格は、新たにイーサネット

100対100のA/Q/D/Sで視聴することもできる。また、HD再生モードで録画中のHD再生も高速テレビ可能となっている。

アップグレードを行う予定。販売価格は、HDS555が9万9千円前後、同33が8万9千円前後になるもよう。

ル化対応に注目が集まり始めている。

2011年7月24日まで457日になり、いよいよ終了が実感を伴って感じられるようになってきている。現実的には、全環境の置き換えについてのハードルは高いが、残り1年3カ月でどこまでその数字に迫ることができるか、ということが重要になってきている。

新たな接続規格として、より接続面積を小型化したマイクロHDMI規格を追加。同コネクタは、横5.9X縦2.3mmで従来のミニコネクタに対し面積を52%削減し、携帯機器などへの採用を進めていく。自動車の車内でのハイビジョン配信として使用できる車載用接続システムやケーブルの規格なども用意した。

また、多機能化が進むため、12年1月からはバージョンナンバーの使用を止め、ケーブルではスタンダードとハイスピード、さらにイーサネット機能のありなしを明記することを決めている。

同社ステイブ・ベヌテ社社長は「3D機器が家庭に登場しようとするなかで、昨年1.4を発表したが、大きな反応を呼び、放送局側の意見を取り入れた1.4aを準備した。また、3Dの普及促進に貢献するため、同規格の仕様書の3D部分だけは一般公開している」と話した。

ト接続を使ったネットワーク機能が可能となったほか、3Dや4Kの伝送が可能となっていることなどが特徴。

配線が複雑になりがちなデジタル機器において、シナプスに接続して、高機能を実現するメリットを提供する。

3月には、同規格に放送局側からの要求を取り入れ、3D伝送方式としてサイド・バイ・サイド(ハイ・トップ・アンド・ボトム方式)を加えた、HDMI 1.4aを立ち上げている。

## 5.1chホームシアター用

### 流線形SPシステム

パイオニアは、自然な音の広がりやインテリア性を両立する流線形のシンブルデザインが特徴の、5.1chホームシアター用スピー

カシステムSHS100(3万5800円)と、パワードサブウーハーS2

に対し、オプションといった場合は、ある特定のモデル専用の周辺機器を指す場合が多い。

最近では、機器本体に付属(同梱)される周辺機器が増えているため、付属品と区別する意味で「〇〇はオプション設定です」などと使われる。

②のオプションは、自動車メーカーの製造ラインで装着するライン純正品、カー用品店などで装着する市販品とは異なる、カーディーラーで車を買うときに注文する商品のこと。ディーラーで取り付けるディーラーオプションと、製造ラインで取り付けるメーカーオプションがある。

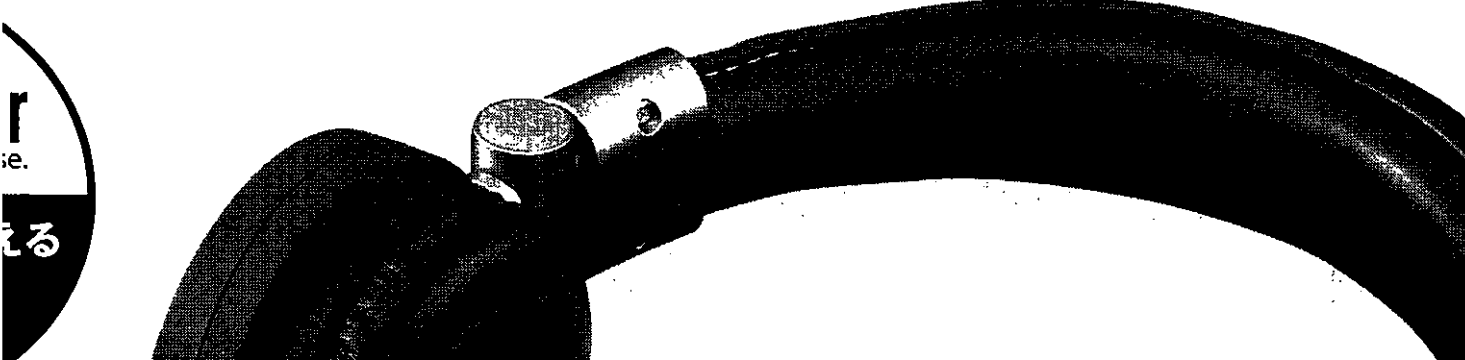
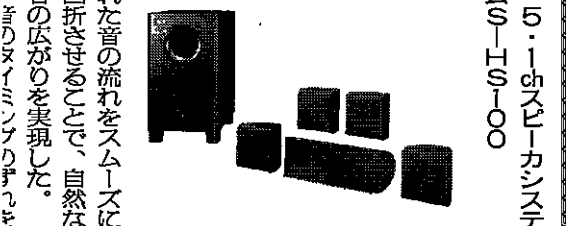
Option. 英語で、選択、選択権を意味するが、家電業界では①主にホームAV分野での別売品②カーAV業界で、車を買うときにメーカーやディーラーで追加できる商品を指す。

①の別売品は、AV機器本体をさらに楽しむための周辺機器で、テレビ台やスピーカスタンド、取付金具、ビデオカメラ用のレンズ、ライト、ケースなどがある。一般的なAVアクセサリが主に汎用品を指すの

1W(2万3800円)を6月中旬から発売する。

スピーカシステムは、サライトスピーカにラウンドフォルムデザインを採用し、サブウーハーにも「ラウンドパッフル」を採用。スピーカユニットから放たれた音の流れをスムーズに回折させることで、自然な音の広がりを実現した。

5.1chスピーカシステムSHS100



ie. える